DeFi年表

2013

2013年11月

Vitalik Buterin氏が、「次世代のスマートコントラクトと分散型アプリケーションプラットフォーム（A Next-Generation Smart Contract and Decentralized Application Platform）」と題したホワイトペーパーで、イーサリアム・プロジェクトを発表。

2014

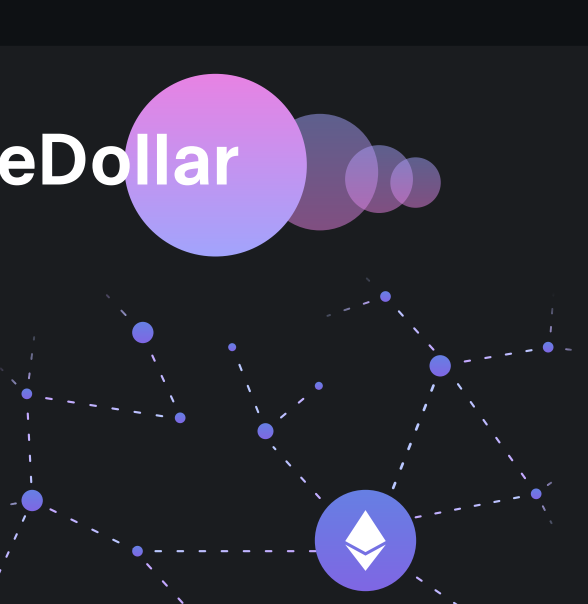
2014年12月

Rune ChristensenやNikolai MushegianによりMakerDAOが設立。後にイーサリアム・ブロックチェーン上でローンチされた最初の自律分散型組織の一つとなる。

2015

2015年3月26日

Rune Christensenが、単数担保型Daiの前身eDollarを発表。来るべきイーサリアム・プラットフォームのテストネット上に構築。



2015年7月30日

ホワイトペーパー発表から2年、6,000万ETHを31,500BTCで販売したクラウドファンディングから1年が経ち、イーサリアム・ブロックチェーンがローンチ。信頼不要のコンピューティングが現実となり、分散型アプリケーション（dapp）の制作およびリリースが可能に。

2016

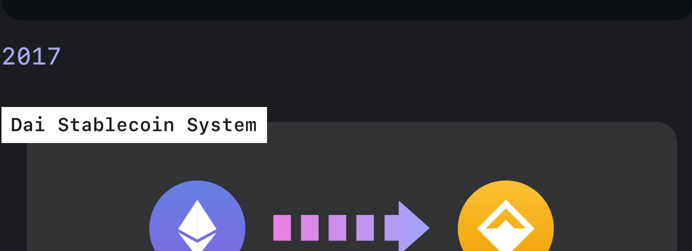
2016年4月30日

The DAO（MakerDAOとの関連なし）として知られる自律分散型組織が、イーサリアム上でトークンセールを実行。The DAOを運営するソフトウェア企業Stock.Itは、このトークンセールをコミュニティ運営の投資資金として設計。ローンチ時のクラウドファンディングにより、多数存在するDAOの一つであるThe DAOは、1億5,000万ドルに相当する1,150万ETHを売却。その後The DAOのコードが悪用され、最終的にThe DAOは崩壊し、有名なイーサリアム・ハードフォークが起こる。その結果イーサリアムおよびイーサリアム・クラシックが競合することに。

2016年半ば

イーサリアム上の最初の分散型取引所、OasisDEX（現在は Oasis.app）がローンチ。

2017

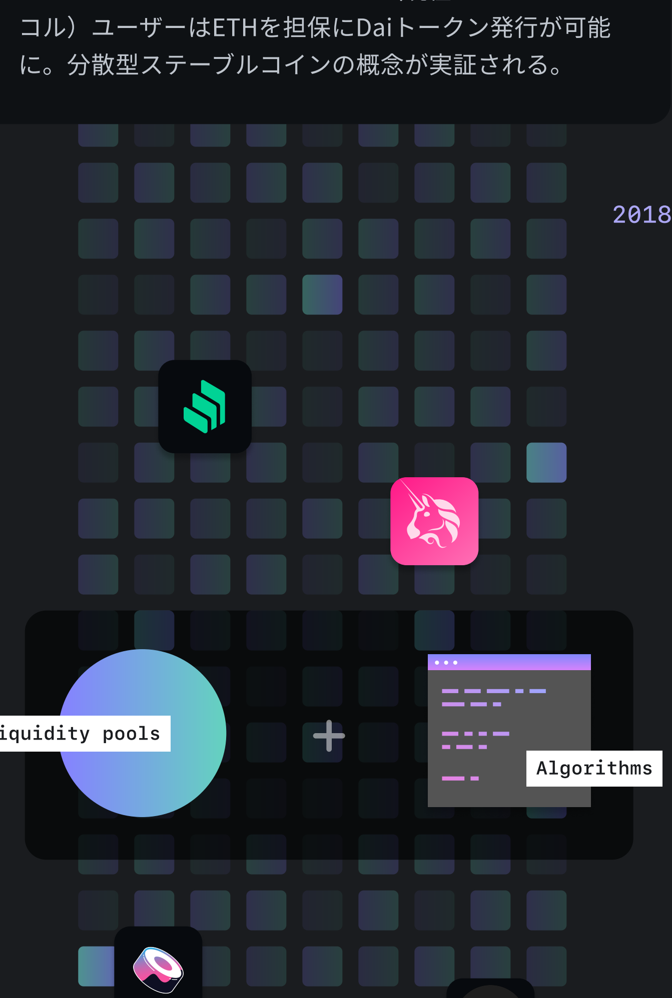


2017年12月19日

単数担保型Dai（SCD）がメインネットでローンチ。Daiステーブルコイン・エコシステム（現在のMakerプロトコル）ユーザーはETHを担保にDaiトークン発行が可能に。分散型ステーブルコインの概念が実証される。

2018

2018年以降イーサリアムのDAPPが増加し、DEFIエコシステムが拡大



2018年9月27日

Compound Financeがローンチ。変動制の手数料を課し、流動性提供者に需給に応じた報酬を提供しながら、あるデジタル資産を担保に他のデジタル資産を借り入れる方法が、2020年までの間に普及。

2018年11月2日

分散型取引所（DEX）のUniswapがローンチ。流動性プール、および中央集権型取引所で利用されているようなオーダーブックの代わりにアルゴリズムで価格を設定する方法を用いた自動マーケットメイカー（AMM）モデルが、暗号通貨界隈のDEXで普及。Curve、SushiSwapおよびBalancerなどの数多くのDEXが人気を博すも、Uniswapが最も著名に。

2019

2019年11月18日

複数担保型Dai（MCD）がローンチ。Makerプロトコルの多様なポートフォリオにあるデジタル資産を担保に、誰でもDaiの発行が可能に。このローンチ以降Maker Foundationは、長年約束してきた解散に向け一気に加速。

2020年9月11日

DeFiプロトコル上の総ロック額（TVL）が初めて100億ドル突破。

2020年11月13日

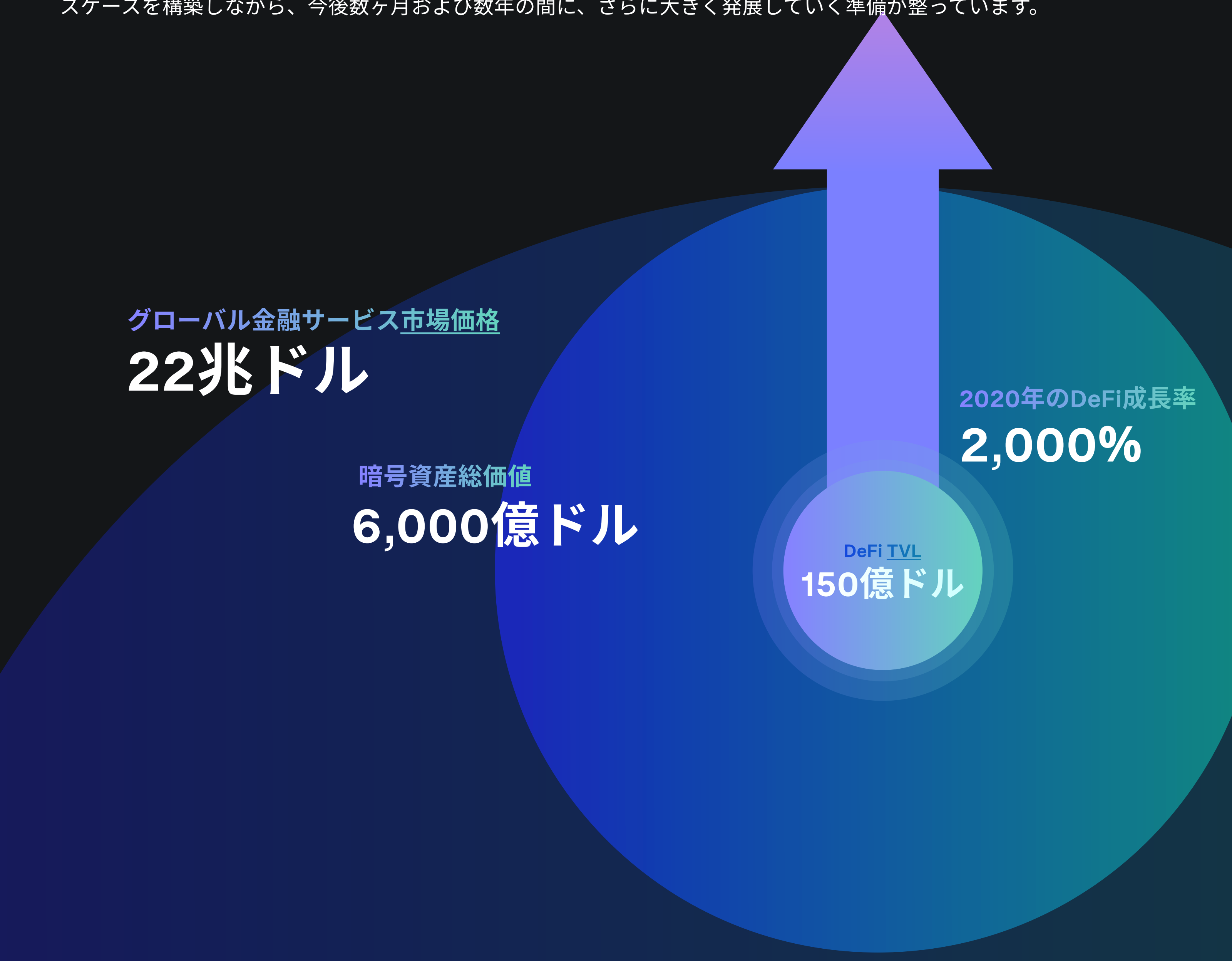
分散型ステーブルコインの新たなマイルストーン到達：10億Daiが発行。

2020年12月1日

イーサリアム2.0（フェーズ0）がローンチ。イーサリアム・プラットフォーム上にあるDeFiの規模拡大を可能にし、ネットワークのセキュリティ、持続可能性、効率性および分散化を改善する、待ち望まれたアップグレードの最初のステージが完了。

2021：DeFiの新時代

DeFiは、イーサリアム・ブロックチェーン上で展開するオープンかつ信頼不要の金融サービスという、グローバルなエコシステムを具現化しています。DeFiムーブメントでは、2020年末に確立された強固な基盤の上に新しいdappおよびユースケースを構築しながら、今後数ヶ月および数年の間に、さらに大きく発展していく準備が整っています。



DeFiが既存の中央集権型金融（CeFi）サービスを拡充している方法

「DeFiには、透明性、安全性、耐改竄性および効率性といった、ブロックチェーンの特徴が内在しています。つまり、分散型技術を統合するCeFiサービスは全て、顧客に向けて新たな利点および機会を創出する可能性を秘めています。」

Maker Foundation代表およびCOO、Steven Becker

DeFiの利点

- 透明性
- 安全性
- パーミッションレス
- 耐改竄性
- 構成可能性

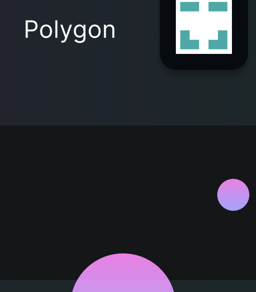
DeFi vs CeFi

DeFi	CeFi
信頼不要	信頼基盤
オープン	閉鎖的
効率的	時間がかかり高コスト

プラットフォームのイノベーションを推進する重要なユースケース

「基本的にDeFiが提供するポテンシャルを楽しみにしています。直接互いに支払いを行い、金銭的リスクを自分で選択できるシステムに、世界中誰でも、どこからでもアクセスできるということは、非常に影響力のあることです。多くの人は、このようなシステムにアクセスできていません。」

2020年Ethereal Summitにて、イーサリアム共同創設者Vitalik Buterin氏



決済および貯蓄

ステーブルコイン技術

Dai　PAX　USDC

レイヤー2決済ソリューション

Flexa　Polygon　xDAI

資産トレードおよび流動性提供

Uniswap　Curve Finance　Balancer

借入および貸出

Compound　Aave

イールドファーミング

Yearn Finance　Harvest Finance

新興ユースケース

保険　身元情報　資産のトークン化

MAKER